



令和4年度

学校関係者評価委員会 (最終報告書)



沖永良部高等学校



鹿児島県立沖永良部高等学校

〈 目 次 〉

令和4年度 学校評価の実施について(6月配布分)	P 1
職員用 学校評価用紙(1 2月配布分)	P 3
職員最終報告	P 4
生徒用 学校評価用紙(1 2月配布分)	P 5
生徒最終報告	P 6
保護者用 学校評価用紙(1 2月配布分)	P 8
保護者最終報告	P 9
学校評価アンケートまとめ	P 10

令和4年度学校評価の実施について

令和4年6月10日

学校評価委員会（久保・花田・下瀬・坪内・村松・堀之内・末永・中村）

1 今年度の実施内容

中間評価（7月）、最終評価（12月）の2回実施する。

【全体の流れ：目的】

学校として目指すべき重点目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を評価することにより、組織的・継続的に学校運営を改善していく。

- 昨年度の学校評価最終報告の反省を踏まえ、今年度の目標に合わせた計画を立てて実行する。
- 7月に中間評価を実施することで現在の進捗状況を把握し、その状況に応じて目標達成に向けての改善策を立て直し実行する。
- 12月に最終評価を実施し、今年度の目標達成状況を把握し、次年度の課題や目標を明確にする。

今年度の目標（令和4年度 学校経営の概要から）

○具体像

学校像：活力と魅力に溢れ、進路志望を実現でき、地域の期待に応え発展する学校

職員像：使命感と情熱に燃え、常に資質向上に努め、意識変革を進める職員

生徒像：自ら教養を高め(好学)、人間形成に努め(道義)、粘り強く目標を達成する(根性)生徒

○重点的な推進事項

- (1)学力の向上と資格取得への取り組みを一層促進し、進路実現100%を目指す。
- (2)心身ともに健康・安全で、主体的に行動し粘り強く努力する生徒を育成する。
- (3)小中学校や地域との連携を深めるとともに、積極的に情報を発信し地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努め、募集定員確保に繋げる。
- (4)安心安全で、働きがいのある学校づくりに取り組む。

（1）評価の領域・評価の方法（7月の中間評価では、保護者アンケートは実施しない。）

①教職員による自己評価

- ・教育目標、校務分掌、学級経営、教科指導、生徒指導、進路指導、保健指導の7分野
- ・平成25年度検討し、36項目を24項目に厳選
- ・平成27年度「生徒用 評価アンケート」と対比する11項目を追加
- ・平成28年度 改善欄（下段）を追加
- ・平成29年度「生徒用 評価アンケート」項目一部変更・順番入れ替え
- ・令和3年度 項目の変更

②生徒・保護者による評価アンケート

- ・保護者用12項目
- ・生徒用11項目（平成25年度から授業評価は各教科担任が独自のアンケートを行うという形に変更）・令和4年度 項目の一部変更
- ・平成27年度生徒用の項目一部変更
- ・平成28年度保護者用に改善欄（下段）を追加
- ・平成29年度生徒用の項目一部変更・順番入れ替え+アンケート（下段）を追加
- ・令和3年度 項目の一部変更

③学校関係者評価委員による評価

- ・学校関係者評価委員会を年3回（6，11，2月）開催する。学校経営全般、各部、各学年、各教科の目標や努力事項について、「自己評価」の結果を踏まえ、意見交換及び学校への提言を行う。

④評価の段階 A～Dの4段階とする。

- A…良い（満足度80%以上）
- B…概ね良い（満足度60%以上～80%未満）
- C…あまり良くない（満足度40%以上～60%未満）
- D…悪い（40%未満）

（２）結果報告の方法（①は中間、最終報告 ②・③・④は最終報告）

- ①全職員，学校関係者評価委員へ集約したものを文書で報告する。
- ②県教委へ文書で報告する。
- ③保護者には次年度のＰＴＡ総会で報告する。
- ④ＨＰ等に掲載する。

２ 実施に向けての予定

学期	月	実施内容
1 学期	4 月上旬	今年度の目標に合わせて，それぞれの部・学年・学級・教科そして個人で方針，方向性を検討する。
	5 月～6 月	委員会による実施方法・評価項目等の見直し確認 6 月の運営委員会と職員会議で審議する。
	7 月 1 日（金）	中間評価を実施 全職員，生徒にアンケート用紙を配布
	7 月 8 日（金）	①生徒用アンケート用紙の回収 （担任が回収，副担へ提出） ②職員用アンケートの提出 → 教務 東・森
	7 月 1 5 日（金）	①生徒用アンケートの集計（副担）→ データ入力完了 ②職員用アンケートの集計（教務 東・森） → データ入力完了
	8 月 2 9 日（月）	全職員へ中間評価の結果・分析報告
2 学期	9 月上旬	中間報告を受けて，それぞれの部・学年・学級・教科そして個人で再度方針，方向性を検討する。
	1 1 月下旬	中間評価の結果と分析を，学校関係者評価委員会へ報告
	1 1 月 2 1 日（月）	最終評価を実施 全職員・保護者・生徒にアンケート用紙を配布
	1 2 月 2 日（金）	①生徒用・保護者用アンケート用紙の回収 （担任が回収，副担へ提出） ②職員用アンケートの提出 → 教務 東・森
	1 2 月 1 6 日（金）	①生徒・保護者用アンケートの集計（副担）→ データ入力完了 ②職員用アンケートの集計（教務 東・森） → データ入力完了
3 学期	1 月下旬	結果の集計，報告 結果報告後の感想・意見・提言の募集
	2 月中旬	学校関係者評価委員会，職員への最終報告
	3 月	改善へ向けての検討会等（職員会議），県教委への報告
次年度 1 学期	4 月	学校評価計画・結果等のＨＰ等への掲載
	5 月	ＰＴＡ総会で保護者に説明

令和4年度 第2回学校評価（職員用）

※提出日12月2日（金）までに東まで

下記の事項について自己評価をお願いします。各項目の評価A～Dの欄に1ヶ所○印をお願いします。
12月2日（金）までに、東へ提出してください。提出の際は、教務の机の上に封筒を用意しておきますので、職員名票に○印をつけてください。

【評価】 A…良い(満足度80%以上) B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満) C…あまりよくない(満足度40%以上～60%未満) D…悪い(40%未満)

分野	番号	評価項目	評価			
			A	B	C	D
教育目標	1	本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている。				
	2	各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。				
	3	各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している。				
校務分掌	4	校務分掌に係わる書類は、その都度整理し、次年度への引継ができるようにしている。				
	5	業務にあたっては、管理職や他の部署との連絡や調整を図りながら、早めに計画を立てている。				
学級経営	6	正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的生活態度の確立に努めている。				
	7	正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている。				
	8	学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあたっている。				
教科指導	9	指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている。				
	10	適切な課題を与え、宅習時間の確保に努めている。				
	11	生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている。				
	12	教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に応えている。				
生徒指導	13	生徒が校則を守り、基本的生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている。				
	14	生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している。				
	15	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている。				
	16	生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。				
	17	情報モラルについて指導している。				
進路指導	18	3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている。				
	19	生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている。				
	20	生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている。				
保健指導	21	健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導を行っている。				
	22	栄養・睡眠など基本的生活習慣の指導に努めている。				
	23	生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている。				
	24	心身の成長に伴った性教育の指導に努めている。				

	番号	評価項目	評価			
			A	B	C	D
生徒アンケートの対比用	1	生徒を授業に対し、真剣に取り組ませている。				
	2	生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。				
	3	生徒が気軽に質問等に来れる環境作りをしている。				
	4	生徒の学力に応じた宿題・課題等に取り組ませている。				
	5	生徒の学力に応じた予習・復習等に取り組ませている。				
	6	生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がけさせている。				
	7	生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。				
	8	生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。				
	9	生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。				
	10	生徒に家庭への配付物が渡るよう指導している。				
	11	生徒が積極的に学校行事へ取り組めるよう働きかけている。				

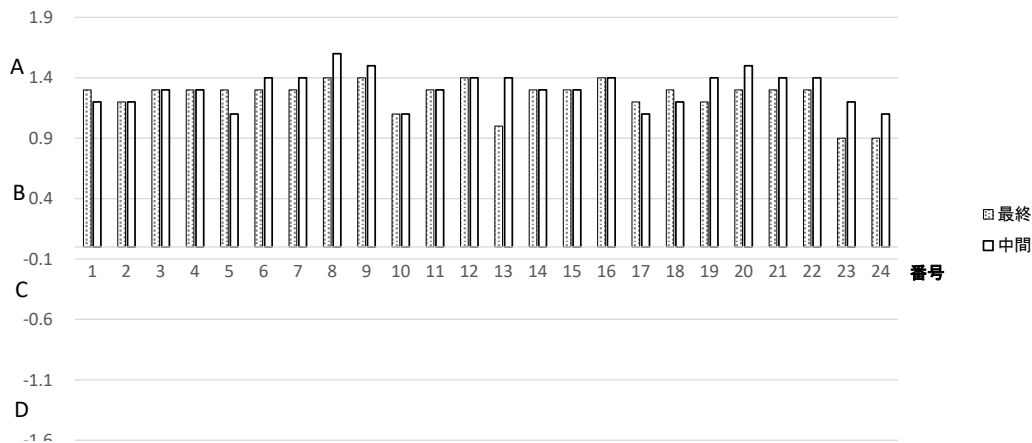
具体的に何か改善してほしいことがありましたら、お書きください。

令和4年度 学校評価(職員) 最終報告

教育ビジョン	知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたり意欲的に自己実現を目指す心身ともに健康で創造性と協調性に富み、社会に貢献できる人材の育成。
教育目標	日本国憲法及び教育基本法 の精神及び、県教育大綱並びに県教育振興基本計画の基本目標である「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」に抱って公教育の責務を果たし、校訓「好学」「道義」「根性」が具現され、人間性豊かで夢と希望に満ちた人間の育成に努める。また、郷土を愛し地域社会に貢献し、信頼される心豊かな人材の育成に努める。
本年度の重点的な推進事項	(1) 学力の向上と資格取得への取組みを一層促進し、進路実現100%を目指す。 (2) 心身ともに健康・安全で、主体的に行動し粘り強く努力する生徒を育成する。 (3) 小中学校や地域との連携を深めるとともに、積極的に情報を発信し、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努め、募集定員確保に繋げる。 (4) 安心安全で、働きがいのある学校づくりに取り組む。
昨年度の課題	①職員－生徒間の比較の評価に差異が大きかった項目について、具体的な改善の手立てを検討する。 ②生徒の自己評価・家庭学習アンケートで評価の低かった項目やアンケート結果等を分析し、具体的な改善手立てを検討する。また、家庭学習アンケートは来年度以降も継続し、課題の発見に役立てる。併せて、比較用評価項目の文章については、今後も検討・改善を続け、調査の効果を高めていく。 ③保護者との連携をさらに強化し、本校の教育活動の実態や成果をより積極的に発信していく。 ④職員の自己評価がここ数年で低下していたことから、余裕を持った教育活動を行えるように今回の結果を全体で共有し、業務改善等に繋げる。

分野	番号	評価項目	評価				回答者数	平均値	総合評価	昨年12月	備考	評価基準	
			A	B	C	D							
教育目標	1	本校の教育目標を念頭に置きながら教育活動を行っている。	8	20	1	0	29	1.3	A-	B+		A+	2
	2	各部・各学年の本年度の努力目標を念頭に置きながら、日々業務の遂行にあたっている。	9	17	3	0	29	1.2	A-	B+			
	3	各教科の本年度の目標を念頭に置きながら、教科指導を実践している。	8	20	1	0	29	1.3	A-	B+			
校務分掌	4	校務分掌に係わる書類は、その都度整理し、次年度への引継ができるようにしている。	12	14	3	0	29	1.3	A-	A-		A	1.6
	5	業務にあたっては、管理職や他の部署との連絡や調整を図りながら、早めに計画を立てている。	10	18	1	0	29	1.3	A-	A-			
学級経営	6	正副担任が協力し合い、学習習慣や基本的生活態度の確立に努めている。	14	12	3	0	29	1.3	A-	A-		A-	1.3
	7	正副担任が協力し合い、保護者との連携に努めている。	12	15	2	0	29	1.3	A-	A-			
	8	学級の生徒一人ひとりを大切に、正副担任それぞれの立場で個性を伸ばす指導にあたっている。	13	14	2	0	29	1.4	A	A-			
教科指導	9	指導内容、板書、発問等工夫しながら「わかる授業」の実践に努めている。	12	16	1	0	29	1.4	A	A		B+	1
	10	適切な課題を与え、学習時間の確保に努めている。	7	19	3	0	29	1.1	A-	B+			
	11	生徒の実態を把握して、上位下位ともに学力の向上を図るよう努めている。	14	11	4	0	29	1.3	A-	A-			
	12	教科における生徒の質問や悩みに対して真摯に答えている。	13	14	2	0	29	1.4	A	A-			
生徒指導	13	生徒が校則を守り、基本的生活態度を身につけるように、あらゆる場面で生活指導に努めている。	8	17	4	0	29	1.0	B+	B+		B	0.6
	14	生徒が交通ルールやマナーを守るように注意している。	14	12	3	0	29	1.3	A-	A-			
	15	生徒が主体的・意欲的に活動できるよう、学級や生徒会、部活動などの指導にあたっている。	13	13	3	0	29	1.3	A-	B+			
	16	生徒の人権や個性を尊重しながら、生活指導や相談にあたっている。	13	15	1	0	29	1.4	A	A-			
	17	情報モラルについて指導している。	9	17	3	0	29	1.2	A-	B+			
進路指導	18	3年間を見通して、計画的に進路指導を行っている。	12	14	3	0	29	1.3	A-	B+		B-	0.3
	19	生徒の実態や個性を把握して、進路に関する適切な情報を与え、指導助言を行っている。	9	17	3	0	29	1.2	A-	B+			
	20	生徒の進路実現のために、進学や就職指導を適切に行っている。	10	18	1	0	29	1.3	A-	A-			
保健指導	21	健康や安全に留意するように適切な保健・安全指導を行っている。	11	16	2	0	29	1.3	A-	A-		C+	-0.3
	22	栄養・睡眠など基本的生活習慣の指導に努めている。	12	15	2	0	29	1.3	A-	A-			
	23	生徒・職員が一体となり、校内美化に努めている。	7	16	6	0	29	0.9	B+	B+			
	24	心身の成長に伴った性教育の指導に努めている。	6	19	3	1	29	0.9	B+	B+			

職員中間・最終評価



令和4年度 第2回学校評価のアンケート調査（生徒用）

【自己評価】

今の学校生活や学習状況などを点検することで、自分を見つめ直す機会となります。そして、今後の学校生活や学習に生かすことができます。その参考資料にしますので、自分自身の取り組みについて評価をしてください。

（ 男 ・ 女 ）

【評価】

- A…良い(満足度80%以上)
 B…概ね良い(満足度60%以上～80%未満)
 C…あまり良くない(満足度40%以上～60%未満)
 D…悪い(40%未満)

	番号	評 価 項 目	評 価			
			A	B	C	D
自己評価	1	授業に対し真剣に取り組むことができる。				
	2	授業の内容をよく理解できる。				
	3	授業で分からないことについて質問する。				
	4	家庭で宿題や課題をきちんとやっている。				
	5	家庭で予習や復習をきちんとやっている。				
	6	健康に留意し、規則正しい生活を心がけている。				
	7	将来の進路(仕事、生活)について、しっかり考えている。				
	8	清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。				
	9	服装(シャツ・靴下)、髪など身なりをきちんと整えている。				
	10	家庭への配付物等は、保護者に確実に渡している。				
	11	体育祭や文化祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。				

以下のアンケートにも答えてください。

番号	ア ン ケ ー ト 項 目 ※該当する番号や項目を○で囲む。
アンケート	家庭で1日の学習に取り組む時間を教えてください。ただし、土日は除く。 (1. しない 2. 1時間以内 3. 1～2時間 4. 2～3時間 5. 3～4時間 6. 4時間以上)
	「1. しない」と答えた人に質問します。理由を選択肢1～5から1つ選んでください。 1. 必要性を感じていない。 2. 必要性は感じているが、やる気が起こらない。 3. 必要性は感じているが、学校で済ませる。 4. 必要性は感じているが、やり方が分からない。 5. その他()
	「予習・復習」の大切さを理解していますか？ (1. している 2. どちらかといえばしている 3. どちらかといえばしていない 4. していない)
	上記の2に取り組む時間を教えてください。ただし、土日は除く。 (1. しない 2. 30分以内 3. 30分～1時間 4. 1～2時間 5. 2～3時間 6. 3時間以上)
アンケート	家庭における学習の取り組みは十分だと思いますか？ (1. 思う 2. どちらかといえば思う 3. どちらかといえば思わない 4. 思わない)
	「3. どちらかといえば思わない」「4. 思わない」と答えた人に質問します。理由を選択肢1～7から2つ以内で選んでください。ただし、選択肢1, 2を選んだ人は()内にも答えること。 1. 帰宅時間が遅くなる。(通学 部活動 アルバイト 塾 習い事 その他 ()) 2. 疲れて眠くなる。(通学 授業 部活動 アルバイト 塾 習い事 家の手伝い その他 ()) 3. 家庭で集中できる場所がない。 4. 「宿題・課題」の量が多い。 5. やる気が起こらない。 6. やり方が分からない。 7. その他()

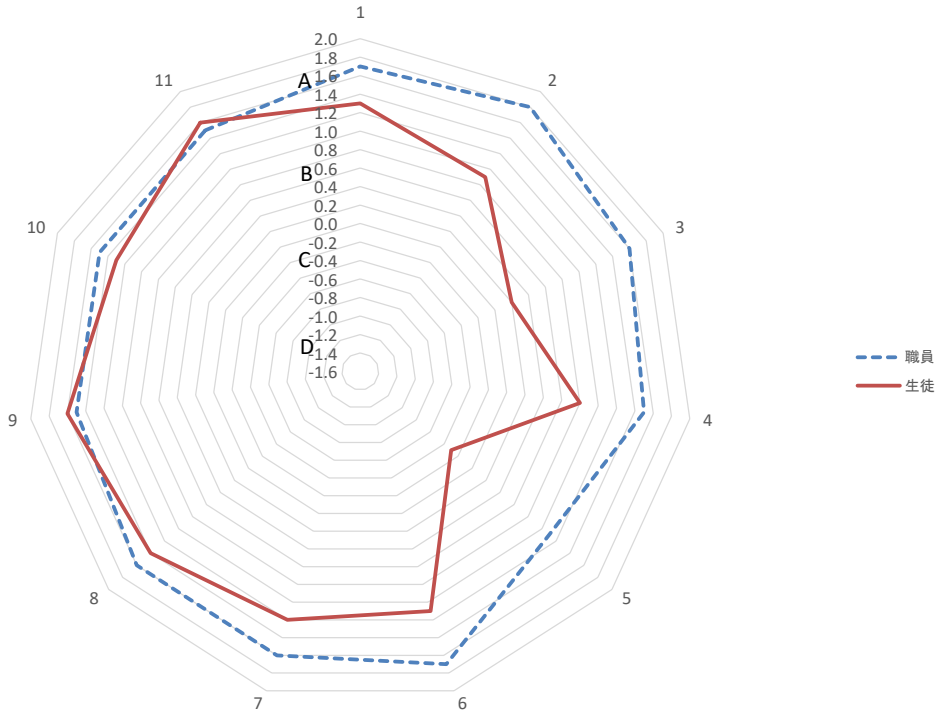
令和4年度 学校評価(生徒自己評価) 最終報告

	番号	評 価 項 目	評 価				回答 者数	平均値	総合 評価	昨年 12月
			A	B	C	D				
生徒自己評価	1	授業に対し真剣に取り組むことができる。	89	125	17	0	228	1.3	A-	A-
	2	授業の内容をよく理解できる。	39	153	38	1	228	0.9	B+	B+
	3	授業で分からないことについて質問する。	35	90	87	19	228	0.2	B-	B-
	4	家庭で宿題や課題をきちんとやっている。	71	100	43	16	228	0.8	B+	B+
	5	家庭で予習や復習をきちんとやっている。	18	76	96	41	228	-0.3	C	C
	6	健康に留意し、規則正しい生活を心がけている。	108	80	37	6	228	1.1	A-	A-
	7	将来の進路(仕事、生活)について、しっかり考えている。	97	98	36	0	228	1.2	A-	A-
	8	清掃には一生懸命取り組み、校内の美化に努めている。	112	106	12	1	228	1.4	A	A
	9	服装(シャツ・靴下)、髪など身なりをきちんと整えている。	140	78	12	1	228	1.6	A	A
	10	家庭への配付物等は、保護者に確実に渡している。	108	96	25	2	228	1.3	A-	A-
	11	体育祭や文化祭など学校行事に積極的に取り組んでいる。	146	79	5	1	228	1.6	A	A

評価基準	
A+	2
A	1.6
A-	1.3
B+	1
B	0.6
B-	0.3
C+	0
C	-0.3
C-	-0.6
D+	-1
D	-1.3
D-	-1.6

	番号	評 価 項 目	評 価				回答 者数	平均値	総合 評価	昨年 12月
			A	B	C	D				
職員対比アンケート	1	生徒を授業に対し、真剣に取り組ませている。	12	16	1	0	23	1.7	A+	A-
	2	生徒に授業の内容をよく理解させる工夫をしている。	13	15	1	0	23	1.8	A+	A-
	3	生徒が気軽に質問等に来れる環境作りをしている。	13	13	3	0	23	1.6	A	B+
	4	生徒の学力に応じた宿題・課題等に取り組ませている。	12	14	2	1	23	1.5	A	B+
	5	生徒の学力に応じた予習・復習等に取り組ませている。	7	17	4	1	23	1.1	A-	B+
	6	生徒の体調に留意し、規則正しい生活を心がけさせている。	12	16	1	0	23	1.7	A+	A-
	7	生徒の進路について、学年に応じた進路指導を行っている。	12	14	3	0	23	1.6	A	A-
	8	生徒と共に一生懸命、清掃や校内美化へ取り組み、指導している。	10	17	2	0	23	1.6	A	A
	9	生徒に服装・頭髪など身なりを整えさせている。	11	15	3	0	23	1.5	A	A-
	10	生徒に家庭への配付物が渡るよう指導している。	9	18	2	0	23	1.5	A	A-
	11	生徒が積極的に学校行事へ取り組めるよう働きかけている。	10	16	3	0	23	1.5	A	A-

生徒・職員対比アンケート



令和4年度 沖永良部高等学校 学校評価(生徒アンケート) 最終報告

アンケート質問事項

番号	アンケート項目		1	2	3	4	5	6	計																																						
1	家庭で1日の学習に取り組む時間を教えてください。ただし、土日は除く。 (1. しない 2. 1時間以内 3. 1～2時間 4. 2～3時間 5. 3～4時間 6. 4時間以上)	中間	42	110	56	21	3	2	234																																						
		最終	40	93	72	15	6	4	230																																						
	「1. しない」と答えた人に質問します。理由を選択肢1～5から1つ選んでください。 1. 必要性を感じていない。 2. 必要性を感じているが、やる気が起こらない。 3. 必要性を感じているが、学校で済ませる。 4. 必要性を感じているが、やり方が分からない。 5. その他()	中間	3	26	7	5	1		42																																						
		最終	2	18	14	3	0		37																																						
	2 「予習・復習」の大切さを理解していますか？ (1. している 2. どちらかといえばしている 3. どちらかといえばしていない 4. していない)	中間	83	116	28	7			234																																						
		最終	69	130	22	9			230																																						
3 上記の2に取り組む時間を教えてください。ただし、土日は除く。 (1. しない 2. 30分以内 3. 30分～1時間 4. 1～2時間 5. 2～3時間 6. 3時間以上)	中間	54	74	79	14	4	1	226																																							
	最終	55	92	54	19	3	1	224																																							
4	家庭における学習の取り組みは十分だと思いますか？ (1. 思う 2. どちらかといえば思う 3. どちらかといえば思わない 4. 思わない)	中間	18	68	95	53			234																																						
		最終	19	64	92	51			226																																						
	「3. どちらかといえば思わない」「4. 思わない」と答えた人に質問します。理由を選択肢1～7から2つ以内で選んでください。ただし、選択肢1, 2を選んだ人は()内にも答えること。		計	通学	授業	部活動	アルバイト	塾	習い事	家の手伝い	その他																																				
		中間	33	6	0	20	0	2	0	0	0																																				
	最終	28	4	0	21	0	0	0	0	0																																					
	1. 帰宅時間が遅くなる。(通学 部活動 アルバイト 塾 習い事 その他 ())	中間	85	12	7	26	0	1	0	3	4																																				
		最終	70	7	18	22	0	1	1	4	1																																				
	3. 家庭で集中できる場所がない。	中間	12	～「その他」のまとめ～ 一つの課題をだらだらと長い時間してしまい、他の課題を後回しにしてしまう。 自主練 時間がない																																											
		最終	18																																												
	4. 「宿題・課題」の量が多い。	中間	1										～「その他」のまとめ～ 一つの課題をだらだらと長い時間してしまい、他の課題を後回しにしてしまう。 自主練 時間がない																																		
		最終	9																																												
	5. やる気が起こらない。	中間	72																			～「その他」のまとめ～ 一つの課題をだらだらと長い時間してしまい、他の課題を後回しにしてしまう。 自主練 時間がない																									
		最終	76																																												
	6. やり方が分からない。	中間	18																												～「その他」のまとめ～ 一つの課題をだらだらと長い時間してしまい、他の課題を後回しにしてしまう。 自主練 時間がない																
最終		13																																													
7. その他()	中間	2	～「その他」のまとめ～ 一つの課題をだらだらと長い時間してしまい、他の課題を後回しにしてしまう。 自主練 時間がない																																												
	最終	3																																													

令和4年度 第2回学校評価のアンケート調査について（お願い）

保護者の皆様には平素から本校の教育活動に対し御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、本校では生徒たちの学校生活をより充実させ、学校の活性化を図るために、今年度も本校の教育活動等に関して、保護者の方々に評価していただくことにしました。下記のアンケートの各項目のA～Dの欄に一ヶ所だけ○印を付けて、12月2日（金）までに学級担任へ御提出くださるようお願いいたします。
なお、結果につきましては来年度のPTA総会及びホームページで公表します。

【評価】

- A…良い（満足度80%以上）
B…概ね良い（満足度60%以上～80%未満）
C…あまり良くない（満足度40%以上～60%未満）
D…悪い（40%未満）

番号	評 価 項 目	評 価			
		A	B	C	D
1	子どもの学力に応じた授業が行われている。				
2	子どもは授業の内容をよく理解している。				
3	学校から出される課題や宿題の量や質は適切だと思う。				
4	子どもが学習活動に対し真剣に取り組んでいる。				
5	子どもの学力が正しく評価されている。				
6	子どもの生活状態や健康状態が十分把握されている。				
7	子どもの個性や能力、適性に応じた進路指導が行われている。				
8	子どもの行動、生活面について適切な生徒指導が行われている。				
9	子どもと教師とのコミュニケーションがきちんととれている。				
10	家庭と学校とのコミュニケーションがきちんととれ、学校からの連絡が確実に届いている。				
11	保護者の意見に教師が十分耳を傾け、良好な関係ができています。				
12	生徒や地域にとって魅力ある学校行事が行われている。				

具体的に何か改善してほしいことがありましたら、お書きください。

令和4年度 沖永良部高等学校 学校評価（保護者） 最終報告

番号	評価項目	評価(人数内訳)				回答者数	平均値	総合評価	昨年度評価
		A	B	C	D				
1	子どもの学力に応じた授業が行われている。	54	86	13	1	154	1.2	B+	B+
2	子どもは授業の内容をよく理解している。	32	98	21	3	154	0.9	B	B-
3	学校から出される課題や宿題は十分だと思う。	46	93	15	0	154	1.1	B+	B+
4	子どもが学習内容に対し真剣に取り組んでいる。	53	76	22	3	154	1.0	B+	B
5	子どもの学力が正しく評価されている。	62	84	8	0	154	1.3	A-	A-
6	子どもの生活状態や健康状態が十分把握されている。	57	86	10	1	154	1.2	B+	B+
7	子どもの個性や能力、適性に応じた進路指導が行われている。	61	80	10	3	154	1.2	B+	B+
8	子どもの行動、生活面について適切な生徒指導が行われている。	62	83	8	1	154	1.3	A-	B+
9	子どもと教師とのコミュニケーションがきちんととれている。	51	86	12	5	154	1.1	B+	B+
10	家庭と学校とのコミュニケーションがきちんととれ、学校からの連絡や配布物が確実に届いている。	51	85	16	2	154	1.1	B+	B+
11	保護者の意見に教師が十分耳を傾け、良好な関係ができています。	57	83	10	4	154	1.2	B+	B+
12	生徒や地域にとって魅力ある学校行事が行われている。	54	74	24	2	154	1.0	B+	B+

25

評価基準	
A+	2
A	1.6
A-	1.3
B+	1
B	0.6
B-	0.3
C+	0
C	-0.3
C-	-0.6
D+	-1
D	-1.3
D-	-1.6

備考	・回答率は64% ・総合評価については3つの項目が1段階ずつ上昇。(項目2, 項目4, 項目8) 減少した項目はない。 ・Dの評価は昨年と大差がない。(R3(合計26)→R4(合計22))。
----	---

令和4年度 学校評価アンケートのまとめ

実施日：令和4年7月と12月

対 象：生徒・本校職員（2回）、保護者（1回）

【アンケート結果の分析】

（職員）

- ① 職員の自己評価については、昨年と比較して下記の11項目が1段階ずつ上昇。
「教育目標」項目1, 2, 3, 「学級経営」項目8, 「教科指導」項目10, 12,
「生徒指導」項目15, 16, 17 「進路指導」18, 19
- ② 平成28年度より、生徒の自己評価と対比できるように評価項目を追加したが、特に昨年より生徒との評価に差異が現れた項目については、以下の通り。

- ・項目1「授業への取り組み」 ・項目2「授業内容の理解」 ・項目3「質問できる環境」
- ・項目4「宿題・課題の取り組み」 ・項目5「予習・復習の取り組み」 ・項目6「体調」
- ・項目7「進路指導」 ・項目10「家庭への配布物」

生徒の自己評価は昨年と変化しておらず、職員の自己評価が上昇したことで差が大きくなった。対比する評価項目の文章が全く同じではないことに考慮する必要はあるが、昨年に続き授業内容の更なる工夫や生徒が質問できる雰囲気づくり、生徒の学習状況把握が大切であることに加え、生徒に学習への取り組み方や質問の仕方などを具体的に伝えていく必要があると思われる。

（生徒）

- ③ 生徒の自己評価については昨年度と全体とした変化は見られない。引き続き評価の低い項目が、項目3「分からないことを質問する」、項目5「予習や復習を行っている」である。職員アンケートとの対比でも差異が大きかった項目であるが、「質問をしたことがないため、しないできない、質問の仕方が分からない」「予習と復習の方法が分からない」といったことも考えられる。

平成30年度から新たに追加した生徒のアンケート（家庭学習）は、昨年・中間どちらと比較しても大きな差異はない。項目1「家庭での学習時間」では、昨年との比較では「しない」が微増し、1時間以上の学習時間の項目が微増していたので、昨年よりもやや二極化が進んでいることが推測される。中間との比較では、「1時間以内」が7月中旬では全体の約47%、12月最終が約40%とやや減少、「1～2時間」が7月中旬では24%、12月最終では31%とやや増加し、これ以上の学習時間の項目も微増しているので、7月よりは学習する生徒が増えていることがわかる。

「家庭における学習への取り組み」は「しない・取り組みが十分でない」理由の1番が「やる気が起こらない」で全体の約33%であった。次に「疲れて眠くなる」「帰宅時間が遅くなる」が上位に上げられる。昨年度も「やる気が起こらない」（約38%）「疲れて眠くなる」「帰宅時間が遅くなる」が同様に並んでいる。

理由の上位は「疲れて眠くなる」「帰宅時間が遅くなる」と部活動の影響が大きい結果となった。

自宅ではもちろん学校の隙間時間の活用も含めた時間確保や進路目標を見据えた学習に対する意識をさらに高めていく取り組みが必要である。また、保護者の協力なしに家庭学習は行えないことから三者面談を生かし現状の説明や家庭環境の改善の協力も不可欠である。

（保護者）

- ④ 保護者の学校評価では、項目全体でD評価に大きな変化はない。総合評価は昨年度よりやや上昇しており、評価が低下した項目はない。上昇した項目は項目2「子どもは授業内容をよく理解している」、項目4「子どもが学習内容に対し真剣に取り組んでいる」、項目8「子どもの行動、生活面について適切な生徒指導が行われている」であった。自由記載の改善要望の欄では、行事に関する要望が多かった。次年度以降も沖永良部高校へ入学させて良かったと思えるような取り組みや工夫改善を今後も継続していきたい。

【来年度へ向けた課題】

- ①職員－生徒間の比較の評価に差異が大きかった項目について、具体的な改善の手立てを検討する。
- ②生徒の自己評価・家庭学習アンケートで評価の低かった項目やアンケート結果等を分析し、具体的な改善手立てを検討する。また、家庭学習アンケートは来年度以降も継続し、課題の発見に役立てる。併せて、比較用評価項目の文章については、今後も検討・改善を続け、調査の効果を高めていく必要がある。
- ③保護者との連携をさらに強化し、本校の教育活動の実態や成果をより積極的に発信していく。
- ④職員の自己評価はやや上昇したが、生徒との評価の差異は大きいので、余裕を持った教育活動を行えるように今回の結果を全体で共有し、業務改善等に繋げる必要がある。